

政策シート

(政策名) 地域防犯の向上
(予算費目名) 市民生活費

(総合計画体系)

「分野」 安全・安心・快適

30年後の姿 どこでも安全、いつまでも安心、持続可能で快適なまちになっている。

- 10年後の目標
- ・ 災害、犯罪、事故などの危険から、自分の命と財産を自分で守る意識を身に付けている。
 - ・ 居住エリアの集約化などが進み、コンパクトなまちづくりが進んでいる。

◆基本政策 安全で安心して暮らせる持続可能な地域社会づくり

◇政策の概要

市民が安心して生活することができる明るく安全な地域社会を構築するため、市民が自主的に防犯活動に参加するなど防犯意識の高揚を図るとともに自主的防犯活動を支援する。そして、地域における助け合いの精神を醸成し、市民が「自らの地域の安全は自らで守る」という信念をもち、将来にわたり安全で安心して暮らすことのできる地域社会の実現を目指す。

中心市街地の治安維持を市民協働で図るため、有楽街に設置したまちなか防犯センターの維持管理及び運営を支援する。

防犯協会6団体の運営を支援することで、地域の防犯活動の推進等を図る。

◇関連するSDGsのゴール

⑪都市									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◇政策のコスト(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	37,880	36,525				
決算	35,862					
人件費(A)	7,700	4,900				
報酬(B)						
年間経費(予算又は決算+A+B)	43,562	41,425				

◇政策の指標

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
「子どもの登下校時における見守り・声かけ(挨拶)運動」実施団体数の割合	%	目標	80	82	84	86	86	86
		実績	80					
市民参加による「地区安全会議」の団体数	団体	目標	66	-	-	-	-	-
		実績	55	-	-	-	-	-
		目標						
		実績						

◇令和元年度の政策評価(政策の概要)

市民が安心して生活することができる明るく安全な地域社会を構築するため、市民が自主的に防犯活動に参加するなど防犯意識の高揚を図るとともに自主的防犯活動を支援した。そして、地域における助け合いの精神を醸成し、市民が「自らの地域の安全は自らで守る」という信念をもち、将来にわたり安全で安心して暮らすことのできる地域社会の実現を図るよう推進した。

中心市街地の治安維持を市民協働で図るため、有楽街に設置したまちなか防犯センターの維持管理及び運営を支援した。

防犯協会6団体の運営を支援することで、地域の防犯活動の推進等を図った。

◇令和元年度の政策評価(政策の進捗・課題)

<進捗> 計画通り

目標としていた新規3団体の設立はできなかったが、既存団体に対する意見交換会の開催及び啓発物品等を支援することにより、活動を補助することはできた。

まちなか防犯協議会によるまちなか防犯センターでの見守り活動により、中心市街地(繁華街)の治安の維持が図られた。

課題としては、まちなか防犯センターでの見守り活動をする人材が不足している。

防犯協会は、地域における犯罪等の発生防止及び生活の安全を守るために啓発活動等を実施した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	安全で安心なまちづくり支援事業	○		○		4,927	2,127	0.4				
2	中心市街地防犯センター支援事業			○		2,590	1,190	0.2				
3	防犯協会運営事業(負担金)			○		33,908	33,208	0.1				
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						41,425	36,525	0.7				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 安全で安心なまちづくり支援事業

◇事業目的・事業対象

犯罪の起きにくいまちづくりを進めるため、地域住民による自主的防犯活動を支援し、県、警察との連絡調整を図りながら、安全で安心な浜松市を実現する。

◇事業の概要

- 地域住民による自主的防犯活動団体「地区安全会議」の「子どもの登下校時における見守り・声かけ(挨拶)運動」の推進
- 自主的活動防犯団体「地区安全会議」への犯罪防止、犯罪発生抑止情報などの提供及び啓発物品等の支援
 - ・既存55団体と市、警察、防犯協会などの関係団体との意見交換会の開催 年1回

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H22	—	一般会計	自治事務 (法令義務)	浜松市犯罪のない安全で安心なまちづくり条例	○	—	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,969	2,127				
	決算	901					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	901	2,127				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		5,600	2,800				
人工	正規	0.8	0.4				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

犯罪の起きにくいまちづくりを進めるため、地域住民による自主的防犯活動を支援することにより、包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
「子どもの登下校時における見守り・声かけ(挨拶)運動」の実施割合(%)							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	78	80	82	84	86	86	86
実績値	78	80					
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
市民参加による「地区安全会議」の団体数							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値	57	66	-	-	-	-	-
実績値	55	55	-	-	-	-	-
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
III-3(1)ア							
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 地域住民による自主的防犯活動団体「地区安全会議」の設立の推進
 - ・令和元年度設立目標数3団体、設立団体数0（全66地区のうち既存55団体）
- 設立済みの「地区安全会議」への犯罪防止・抑止情報等の提供と啓発物品等の支援
 - ・既存55団体と市、警察、防犯協会等の関係団体を含めた意見交換会の開催 年1回
- 浜松市犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画の見直しを行った
 - ・計画期間: 令和2年度から令和6年度まで

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

- ・自主的防犯活動団体「地区安全会議」の新規3団体を設立する目標が達成できなかった(設立団体数 0団体)
 - ※自治会連合会等へ役割や支援内容等を説明し設立を推進してきたが、地区ごとに状況や環境が違うため設立の必要がないと判断している地区もある。説明等を複数回試みたが、設立には至らなかった。しかしながら、未設置地区においても類似した自主的防犯活動を実施している。
- ・自主的防犯活動団体「地区安全会議」を対象とした意見交換会の開催及び啓発物品等を支援することで、活動を補助した。
- ・浜松市犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画の見直しを行った。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

市民が安心して生活することができる明るく安全な地域社会を構築するため、市民が自主的に防犯活動に参加するなど、防犯意識の高揚を図るとともに自主的防犯活動を支援した。
浜松市犯罪のない安全で安心なまちづくり基本計画の見直しを行った。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

市民が安心して生活することができる明るく安全な地域社会を構築するため、市民が自主的に防犯活動に参加するなど、防犯意識の高揚を図るとともに自主的防犯活動を支援する。

令和2年度

(管理番号)
03 02 01 01 000605000 02

(担当課)
市民生活課

(責任者)
松野 吉司人

(基準日)
令和 2 年 7 月 1 日

事業シート (事業名) 中心市街地防犯センター支援事業

◇事業目的・事業対象

中心市街地の治安維持を市民協働で図るため、有楽街に設置したまちなか防犯センターの維持管理及び運営を支援する。

◇事業の概要

- まちなか防犯センターの維持管理及び運営の支援
 - ・商店界、地元自治会等で組織された「まちなか防犯協議会」が運営主体のまちなか防犯センターの維持管理
 - ・まちなか防犯協議会と市、警察等との犯罪防止及び発生抑止に向けた連携・調整
 - ・「まちなか防犯協議会」の活動支援

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
H23	—	一般会計	自治事務 (その他)		—	—	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	1,150	1,190				
	決算	1,008					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	1,008	1,190				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		1,400	1,400				
人工	正規	0.2	0.2				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

中心市街地の治安維持を市民協働で図るため、有楽街に設置したまちなか防犯センターの維持管理及び運営を支援することにより、包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
					-		
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No R1~R4
					第1期	第2期	
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- まちなか防犯センターの維持管理及び運営の支援
 - ・商店会、地元自治会等で組織された「まちなか防犯協議会」が運営主体のまちなか防犯センターの維持管理
 - ・まちなか防犯協議会と市、警察等との犯罪防止及び発生抑止に向けた連携・調整
 - ・「まちなか防犯協議会」の活動支援

・事業の成果と課題

指標の達成度

まちなか防犯協議会によるまちなか防犯センターにおける見守活動により、中心市街地(有楽街)の治安の維持が図られた。

課題としては、まちなか防犯センターでの見守活動をする人材が不足している。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

まちなか防犯協議会の活動により、街中における防犯意識の高揚を図ることができた。
防犯センターの活動により、交番等の警ら活動が強化され、治安維持の向上が図られた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

まちなか防犯協議会の活動により、街中における防犯意識の高揚を図るとともに、防犯センターにおける見守活動により、交番等の警ら活動が強化され、治安維持の向上を図る。

事業シート (事業名) 防犯協会運営事業(負担金)

◇事業目的・事業対象

地域の安全で安心な市民生活の確保のため、市内6警察署管内の防犯協会へ負担金を支出し、犯罪の防止や治安維持など民生の安定と福祉の増進を図るとともに、地域の防犯活動の推進及び定着のための支援をする。

◇事業の概要

○市内6警察署管内の防犯協会への負担金の支出

- ・防犯指導の普及や防犯活動、啓発の積極的な推進を行う
 【浜松中央地区防犯協会連合会、浜松東・浜松西・浜北・細江警察署管内防犯協会、天竜地区防犯協会】

◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	総合戦略	重点戦略	主要事業
	—	一般会計	自治事務 (その他)		—	—	○

◇事業のコスト

		R1	R2	R3	R4	R5	R6
事業費(千円)	予算	34,761	33,208				
	決算	33,953					
	国・県支出						
	市債						
	その他						
	一般財源	33,953	33,208				
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等) (千円)							
人件費 (千円)		700	700				
人工	正規	0.1	0.1				
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						

◇SDGsとの関連

・関連するゴール

ゴール	ターゲット	ゴール	ターゲット
① 貧困		⑩ 不平等	
② 飢餓		⑪ 都市	○ 11.3
③ 保健		⑫ 生産・消費	
④ 教育		⑬ 気候変動	
⑤ ジェンダー		⑭ 海洋資源	
⑥ 水・衛生		⑮ 陸上資源	
⑦ エネルギー		⑯ 平和	
⑧ 成長・雇用		⑰ 実施手段	
⑨ イノベーション			

・事業とゴールの関連性

地域の安全で安心な市民生活の確保のため、市内6警察署管内の防犯協会へ負担金を支出し、地域の防犯活動の推進及び定着のための支援をすることにより、包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する。

◇事業の指標(R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							
主な事業活動・事業成果 指標(単位)					総合戦略施策体系		重点戦略No
					第1期	第2期	R1~R4
年度	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
目標値							
実績値							

◇令和元年度の事業評価

・令和元年度の事業の概要

- 市内6警察署管内の防犯協会へ負担金を支出
 - ・防犯指導の普及や防犯活動、啓発の積極的な推進を行う
【浜松中央地区防犯協会連合会、浜松東・浜松西・浜北・細江警察署管内防犯協会、天竜地区防犯協会】

・事業の成果と課題

指標の達成度

計画通り

地域における犯罪等の発生を防止し、地域住民の生活の安全を守るための啓発活動を実施した。

・ 事業の見直し

実施結果

大項目 小項目 / 事業費 人工

浜松市警察部、市内の警察署6署、防犯協会6団体及び市が連携し、市民に対し防犯の啓発活動等の推進を図ることができた。

今後の方向性

大項目 小項目 / 事業費 人工

浜松市警察部、市内の警察署6署、防犯協会6団体及び市が連携し、市民に対し防犯の啓発活動等の推進を図る。